

日刊 動労千葉

86. 9. 17

No. 2353

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二九五〇六・公衆〇四七二二）七〇七

「6・11改」事前作業の一方実施に怒り 国鉄当局 理不尽ゆえに何ひとつ答えられず

労働組合無視・団体交渉形骸化弾劾！ 「6・11改」区域配転「阻止」

国鉄当局は、九月十三日以降、「六一・一一ダイ改」についてもかわらず、線見・机上訓練の事前作業を業務命令をもって強行してきた。九月十六日の団体交渉は、こうした暴挙に対する怒りがたたきつけられるとともに、「六一・一一ダイ改」強行を断じて許さず闘いぬくことを宣言した。

八万人合理化の「六一・一一」

国鉄当局は、「六一・一一ダイ改」について、四月十一日に提案を行って以降施策の細部について全く明らかにしないまま、「八万人の要員合理化を行う」という職員局長の国会発言のみ先行、国鉄労働者を不安に落とし入れてきた。さらに「六一・一一」以降、「余剰人員」は八万人をこえるとし「ブラ日勤」を放置しないためと称し、所要を上回る人数について、「人材活用センター」攻撃を七月一日に強行してきたのである。

団交中に一方実施を強行！

こうした中で、七月三十一日、「六一・一一ダイ改」として、全国で二万五千人削減、運転で九千人（すでに過員一万六千人）削減という大要員合理化計画に対し、動労革マル・鉄労などマル生「四組合」は、三十一日、提案即日妥結という大裏切りを強行した。

これを背景に当局は、運転保安、労働条件に大きな影響を及ぼすことが明らかであるがゆえに申し入れた、動労千葉の「申」について、団体交渉継続中にもかかわらず、業務命令をもって事前作業の一方実施を強行してきた。

九月十三日の佐倉機関区での線見、九月十六日の成田運転支区での机上訓練、九月十七日の新小岩機関区での線見について、当局は動労千葉組合員の抗議の中を区長を先頭に業務命令を乱発し強行した。

激しい怒りがたたきつけられた

九月十六日の団体交渉は、当局の労働組合無視、団体交渉形骸化に対し出席した交渉委員から激しい怒りがたたきつけられた。

動労千葉の「交渉中に業務命令を乱発し一方実施することが団交無視ではないのか」との追及に、何ひとつ答えられず怒りの声を浴びながらスゴスゴと引きささがった。

われわれは、首切りのための「六一・一一ダイ改」―事前作業の強行を断じて許さず、断固闘うのみである。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

宮島義勇・監督作品
俺たちは鉄路に生きる!
動労千葉スライキの記録
●16%カラー作品
●上映時間・1時間50分

9月20日(土)午後6時
館山地区上映会
館山市・安房教育会館

9月28日(日)午後3時
勝浦地区上映会
勝浦市・市民会館